



THE ASSOCIATION FOR OVERSEAS TECHNICAL SCHOLARSHIP[AOTS]

30-1, Senju-azuma 1-chome, Adachi-ku, Tokyo 120-8534, Japan

Tel: 81-3-3888-8214 Fax: 81-3-3888-8242 E-mail: information@aots.or.jp URL: <http://www.aots.or.jp>

2010年1月

募集要項

利益創出型工場管理研修コース

The Practical Improvement Program for Factories

[PIPF]

～To become a profit-generating factory～

2010年5月26日～6月8日

1. コース開設の背景：

(財) 海外技術者研修協会 (AOTS) は、日本政府経済産業省(旧通商産業省)所管の民間技術協力機関として 1959 年に設立され、以来わが国の開発途上国に対する技術協力の一環として、170 余の国・地域から約 149,000 人の技術者や経営管理者を研修生としてわが国に受け入れ、産業人材の育成に協力してきました。帰国した研修生は、それぞれの国の産業発展において重要な役割を果たしています。

AOTS は帰国後の研修生や各国の産業界のニーズ、および日系企業の人材育成ニーズに合致した研修コースを実施するとともに研修コースの開発に努めています。

利益創出型工場管理コースは、全開発途上国を対象として、日本企業に特徴的な経営・管理手法やその根底にある考え方を学ぶために設計されたフラグシップコースの一つで、改善を通して開発途上国の工場の生産性向上を図ることを目的に、1994 年に「工場改善実践研修コース」としてスタートしました。2006 年度には研修内容、研修期間の改訂を行い、新しい研修コースとして実施しています。

2. 対象国：

[対象国・地域一覧](#) (PDF 形式 560KB) をご確認ください。

3. 参加者の人数：

24名

4. 参加資格：

以下の資格を有することが必要です。

- (1) 製造業等において工場全体の現場管理に責任を有する中級・上級管理者、または技術者で生産管理に関する基本的知識を有する方 (但し、製造部門および管理部門の実務経験が必要です。)
- (2) 年齢は 25 歳以上 60 歳以下の方
- (3) 大学卒またはこれに準ずる職歴を有する方
- (4) 英語による聴講、討論、発表、報告書作成ができる方
- (5) 心身健康な方
- (6) 開発途上国または地域の方
- (7) 学生でない方、軍に籍をおいていない方
- (8) 過去に本事業の研修制度で来日した方は、帰国後半年 (183 日) 以内に開始されるコースに応募することはできません。

注意：

- (1) 日系企業からのお申し込みの参加者につきましては、職位に関わらず、該当する職務内容に従事している場合には、参加可能です。
- (2) 日本へ家族を同伴することはできません。
- (3) 参加者は AOTS に対してプログラムの追加を要望したり、自身でプログラムを計画したりすることはできません。このコースの終了後速やかに帰国しなくてはなりません。ただし、日本の受入企業がこのコースの終了後、実地研修を計画し、AOTS の承認を受けた場合はこの限りではありません。
- (4) AOTS が発行する身元保証書の使用は、研修査証取得のためだけに限ります。例えば、参加者のビジネスなどの目的に使用することはできません。
- (5) お申込の多いコースについては、受入企業または派遣企業 1 社当たりの参加人数を制限させていただくことがあります。

5. 応募方法：

以下の応募書類を 2010 年 3 月 22 日 (月) までに、AOTS 本部(東京)に到着するよう提出してください。国内からと海外からとは、提出書類が若干異なりますので、ご注意下さい。

(海外からの申込みの場合)

- 1) 研修申込書、研修生個人記録申告書、及び問診書 (AOTS 所定様式)
- 2) 顔写真 (4×3cm) 2 枚 (裏面に名前を書いてください)
- 3) 勤務先概要を紹介する資料

- 4) ID カードコピー、パスポートコピー、自動車免許証コピー等（公的機関により発行されたもので、写真があり、ローマ字で氏名、生年月日が記載されているもの）
- 5) 事前研修レポート
- 6) 海外旅行保険承諾書（AOTS 所定様式）
- 7) 研修生個人情報取り扱いについて（AOTS 所定様式）
この書類は、本人が署名の上ご提出下さい。内容に同意いただけない場合、または未提出の場合、コースへの参加が認められません。
- 8) 研修契約に関する申告書（日系派遣企業用）

※上記 AOTS 所定様式は AOTS ホームページからダウンロードできます。

【英語】 <http://www.aots.or.jp/jp/use/kokunai/kaigai/moushikomi.html>

（国内からの申込みの場合）

AOTS ホームページ内の以下の案内をご参照下さい。

[国内からの申込手続き ⇒ 申込の方法 2\) 管理研修コース](#)

※上記 AOTS 所定様式は AOTS ホームページからダウンロードできます。

【日本語】 <http://www.aots.or.jp/jp/documents/kokunai/index.html>

提出された応募書類は、2010 年 4 月 22 日（木）の審査委員会で審査されます。審査結果は審査委員会終了後、AOTS 本部より連絡致します。

注：応募者が締切日時点で定員の過半数に満たない場合、本コースを中止または延期する可能性があります。

6. 研修コースの概要：

-目的

工場の生産性向上を図るため管理者の改善活動実践力の強化を目的とします。

-期待される効果

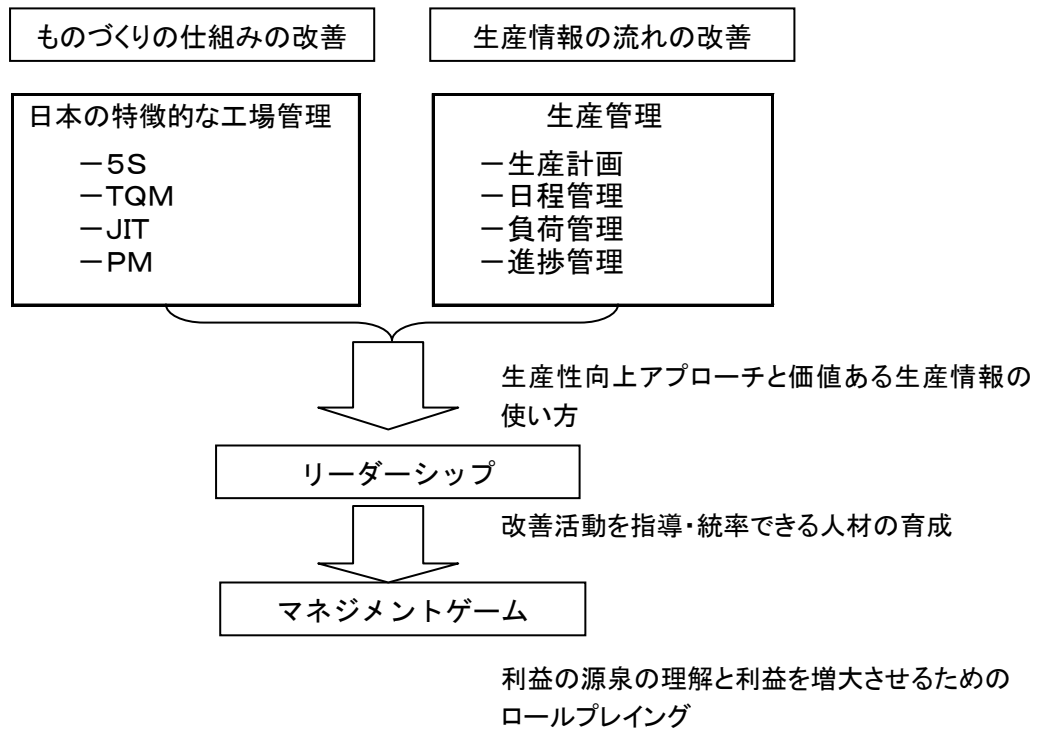
工場においてより多くの利益を生むために取り組むべきアプローチとその手法の習得

-期間

2010 年 5 月 26 日～6 月 8 日（2 週間）

-内容

本コースでは、利益を生む工場管理を目指す企業の管理者に対し、モノ作りの仕組みの改善とモノ作りをサポートする生産情報の流れの改善を行なうために必要な知識を習得していただくとともに、改善を実践し、適切な意志決定ができるリーダーとして機能できるように、以下の流れでカリキュラムを組んでいます。



コースは通常午前3時間、午後3時間の課程からなります。夕食後にグループ討論が行なわれることもあります。

-使用言語

講義、企業見学、演習は英語あるいは英語通訳付で行われます。コースで使用する資料と教材は英語で作成されます。

-主任講師

和田 茂信

(株) ジョウトク 代表取締役 経営コンサルタント

専門分野：生産システム(モノ作りシステム)と生産管理システム(情報システム)

多数の企業に工場改善、作業改善、5S、IE、QC、VE/VA、JIT、TQM、TPM等の導入指導を行い、近年は企業ニーズの高いISO9001、ISO14001の認証取得の為に社内整備指導にも貢献。各企業、団体等が主催する「生産管理」「品質管理」等の各種セミナーにおいても講師として活躍中。

-研修場所と宿泊施設（予定）

AOTS 関西研修センター (KKC) http://www.aots.or.jp/about/center/traffic_kkc.html

558-0021 大阪府大阪市住吉区浅香1丁目7番5号

電話：06-6608-8260(受付)、ファックス：06-6690-2675

7. 申込手続きと経費：

国内から [国内からの申込手続き](#) [国内からの申込（経費）](#)

海外から [海外からの申込手続き](#) [海外からの申込（経費）](#)

8. 査証（V I S A）の取得について：

1. 在留資格

日本で研修するために必要な在留資格は「研修」です。

2. 査証の取得

A O T S 研修参加者は、A O T S が発行する「GUARANTEE LETTER」等必要な申請書類をもって在外日本国大使館/総領事館（以下「在外公館」とする）にて「研修」査証の申請をし、査証を取得していただきます。ただし、申請書類が本省照会となり時間がかかる場合がありますので時間に余裕をもって申請願います。

3. 注意事項

- a) 査証免除措置国・地域人の参加者も在外公館にて「研修」査証の申請をし、査証を取得することが必要です。
- b) 既に「短期滞在査証」、「短期数次査証」等「研修」以外の査証を取得している方も、A O T S が発行する「GUARANTEE LETTER」等必要な申請書類をもって、改めて在外公館にて「研修」査証の申請をし、査証を取得していただくことが必要です。
その際、取得済の査証は失効しますのでご注意ください。
- c) A P E C ・ビジネス・トラベルカード（A B T C）をお持ちの方も「A O T S 研修参加」が渡航目的でありますから、在外公館にて「研修」査証の申請をしていただくことが必要となりますのでご注意ください。
- d) 査証についての不明点は、最寄りの在外公館にて事前に確認をしていただきますようお願いいたします。

9. 個人情報の取扱いについて：

A O T S が取得する応募者の個人情報については以下のとおり取扱います。

(1) 個人情報の管理者： 財団法人海外技術者研修協会 総務部長

連絡先： 総務部総務グループ 電話：03-3888-8211 E-mail: kojinjoho@aots.or.jp

(2) 利用目的

ご提供いただいた個人情報は、研修生受入及び研修実施に関する事務手続きのために利用します。

それ以外の利用目的又は法令に基づく要請の範囲を超えた利用はいたしません。

尚当協会の個人情報保護方針は、<http://www.aots.or.jp/jp/privacypolicy.html>をご覧ください。

10. お問い合わせ：

財団法人 海外技術者研修協会 業務部受入業務グループ 招聘業務長 市浦計宏

住所：〒120-8534 東京都足立区千住東 1-30-1

電話：03-3888-8214 Fax：03-3888-8242 E-mail：shouhei@aots.or.jp

AOTS 海外事務所

バンコク事務所 (AOTS Bangkok Office) 所長 貞谷 季規

住所：14th Fl. SSP TOWER 3, 88 Silom Rd., Suriyawong, Bangruk, Bangkok 10500

電話：66-2-238-5233~4, 268-0784 Fax：66-2-634-1200 E-mail：aots@loxinfo.co.th

北京事務所 (AOTS Beijing Office) 所長 田中宏幸

住所：100004 北京市朝陽区東三環北路 5 号 北京發展大廈 703 室

電話：86-10-6590-8265, 8266 FAX：86-10-6590-8267 E-mail：info@aotsbj.org.cn

ジャカルタ事務所 (AOTS Jakarta Office) 所長 鈴木裕典

住所：6th Floor, Summitmas I, Jl. Jend. Sudirman, Kav. 61-62, Jakarta 12190

電話：62-21-522-6776, 6777, Fax：62-21-522-6661 E-mail：aotsjkt@aots.or.id

クアラルンプール事務所 (AOTS Kuala Lumpur Office) * 所長代理 Anne Chong Gaik Lin

住所：52A, Jalan SS 22/25, Damansara Jaya 47400, Petaling Jaya, Selangor Darul Ehsan

電話：60-3-7726-7273, 7276 Fax：60-3-7726-7269 E-mail：info@aotskl.com

*クアラルンプール事務所は 2010 年 3 月 31 日に閉鎖予定です。

以降は、上記の AOTS 業務部受入業務グループに直接お問い合わせ下さい。

マニラ事務所 (AOTS Manila Office) 所長 吉岡治

住所：18F Pacific Star Building, Sen. G. Puyat Ave. cor. Makati Ave.,

Makati City Philippines 1200

電話：63-2-856-1690, 1691 Fax：63-2-856-1692 E-mail：aots@pltdsl.net

ニューデリー事務所 (AOTS New Delhi Office) 所長 鈴木保己

住所：Flat No.1307, 13th Flr., Gopaldas Bhawan, 28 Barakhamba Road, New Delhi 110001

電話：91-11-2370-4122, 2370-4124~4125 Fax：91-11-2370-4123 E-mail：contact@aotsindia.com

ハノイ事務所 (AOTS Hanoi Office) 所長 近藤齊

住所：6F-04, Prime Center, 53 Quang Trung street, Hai Ba Trung District, Hanoi

電話：84-4-3945-4995 Fax：84-4-3945-4996 E-mail：info@aots.com.vn

利益創出型工場管理研修コース 日程 (予定)

2010年5月26日～6月8日 AOTS 関西研修センター (予定)

月/日	午 前		午 後
5/25 (火)	(来日)		
26 (水)	オリエンテーション/開講式	講義:日本の工場管理の変遷と管理のポイント	講義:現場管理の基礎としての5S
27 (木)	講義:現場でのTQM活動の考え方と進め方		
28 (金)	講義:設備管理と生産保全の考え方		夕方:事前課題発表/最終発表がダンス
29 (土)	休日		
30 (日)	休日		
31 (月)	講義:生産管理と工程管理の考え方と進め方		
6/1 (火)	講義:JITの考え方と進め方		
2 (水)	研修旅行	見学:日本の製造企業における現場管理	
3 (木)		見学:日本の製造企業における現場管理 (日本人現場管理者とのディスカッション)	
4 (金)	講義: 管理者としてのリーダーシップの取り方	講義・演習:マネジメントゲーム(1) -利益を生み出すための意思決定 ・工場運営上、どのような費用が発生するか ・利益の源泉は何か ・利益を生み出すための方策とは何か (13:00-18:30)	
5 (土)	休日		
6 (日)	休日		
7 (月)	演習:マネジメントゲーム(2)		
8 (火)	講義:個別課題解決に対する質疑応答		研修評価会 修了式
9 (水)	(帰国)		

- 注: 1) 上記の日程は講師、見学先の都合、その他諸般の事情によって変わることがあります。
 2) 夕食後にグループ討論が行なわれることがあります。
 3) 土曜と日曜は原則として休日ですが、必要に応じて講義の予定が組まれることがあります。

Pre-training Report

- The Practical Improvement Program for Factories- [PIPF]

Please fill in the following items by using a personal computer or similar equipment, or by handwriting in block letters and submit it to your sponsoring company or AOTS with the other specified documents. AOTS will duplicate and distribute it to lecturers and other participants as a reference material for the group discussion and the presentations to be held during the program.

1. Your name				
2. Country				
3. Organizational profile	(1) Name			
	(2) Products			
	(3) Size of business	(a) Number of employees		
		(b) Production volume		
		(c) Sales turnover		
		(d) No. of business establishments, factories, etc.		
	(4) Position in the market			
(5) Your position (preferably by attaching an organizational chart indicating your position)				
(6) Production process of major product(s)				

<p>4. Major problems perceived with respect to production activities</p>	<p>(1) Problems directly related to the production process</p> <hr/> <p>(2) Choose three items from the following problems, and number them from 1 to 3.</p> <p>1 → Most critical problem/the first priority 2 → The second most critical problem/the second priority 3 → The third most critical problem/the third priority</p> <p>() Frequent occurrence of defects () Increased work-in-process (WIPs) () Increased inventory () Material shortage/excess () Delivery delays () Unattained cost reduction () Unattained energy saving () Poor production efficiency</p>
	<p>(3) Problems related to the overall organization, other than the ones listed above.</p> <hr/> <p>(4) Please specify your problems. (e.g.)</p> <p>() Workers' lack of interest in production () Lack of teamwork () Lack of communication between engineers and managers () Prevailing tardiness and absence without notice</p> <div style="border: 1px solid black; height: 150px; width: 100%; margin-top: 20px;"></div>
<p>5. Describe your expectations and purpose in participating in the program in relation to the above listed problems.</p>	